

ひの 議会だより

No. 144

令和7年8月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる ～安原の「やっちら会」～

裏表紙につづきます

6月定例会	P2～4
5月臨時会	P5
特別委員会活動報告	P6
常任委員会活動報告	P7～8
一般質問(5名)	P9～11
特集記事シリーズ・日野に生きる	P12

6月定例会 一般会計1,243万円を追加 予算総額を43億1,202万円に

(表示額は万円単位とし千円以下は切捨)

令和7年度6月定例会が9日から17日までの会期で開催され、条例改正、一般会計補正予算、教育委員、農業委員の任命等11議案と地方財政の充実強化を求める陳情等は、全て賛成多数で可決・同意しました。

歳出の主なもの

町公舎等管理

久住集会所屋根修理 54万円



久住集会所

男女共同参画

男女共同参画、日本女性会議2025 檜原参加補助 16万円

福祉

生活困窮世帯に対する光熱費助成事業 68万円
子ども家庭支援事業 46万円

子ども家庭支援事業 22万円

庁舎等管理

庁舎エアコン修理 37万円

学校跡地活用

旧日野中学校サテライトオフィスエアコン取替え工事 293万円

※対象者令和7年4月1日以降に以降に妊娠届を出した妊婦の方、1万円分(前住所在地で4月1日以降に妊娠届を出した妊婦の方も含む)
※令和7年4月1日以降に出産された方、1万円
※0歳から15歳までの子育て所帯で町主催イベント(おひさまクラブ・ブックスタートなど)に参加した方、1千円

産業

滝山公園龍王滝付近落石防止工事 100万円

観光

28万円

龍王滝PRの星空観望会(NHKテレビ小説「ぼけぼけ」放送にちなみ、日野町PRと観光客誘致事業)

環境衛生

三町衛生施設組合事務局移転費用 759万円
道路土木業務の車両購入費

道路維持管理業務員の1名採用人件費

学校教育・社会教育

226万円
ひのつこ保育所ガス給湯器老朽化更新
日野学園職員室サーバー更新委託料



落石が懸念される龍王滝遊歩道

質 疑
公用車にNHK受信料不払いが発覚
今回の補正予算では、カーナビを設置している公用車について、NHK受信料未契約の未払いが公用車4台、町営バス3台に判明し、7台分811千円の不払金予算が計上されました。

議員 公用車のNHK受信

料未払い問題であるが何故公用車や町営バスにテレビの受信機能装置を付ける必要性があったのか伺います。

執行部 公用車や町営バス導入には安全装置としてバックモニターカメラ等を標準装備としてカーナビが付いている。

今回のテレビ受信機能については、NHKに確認して未払いが判明した。既に公用車のカーナビ

(テレビ受信機能付き)についてはアンテナを撤去した。今後はテレビ視聴が必要な場合のみアンテナを設置し受信契約をする。

原案のとおり可決

条例の制定・改正など

日野町職員の給与に関する条例の一部改正

再任用職員と会計年度職員との均衡を図るため期末手当及び勤勉手当の支給率の改正を行う。

日野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の改正

投票管理者、投票立会人等の報酬について日額1200円から1700円の間で引き上げる。

日野町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定
基金への積立てに充てる

人事案件

日野町教育委員会委員の任命

前任者の任期満了により、新たに三島道秀氏を任命。
任期 令和7年7月8日～令和11年7月7日
(4年間)

賛成多数で同意

日野町農業委員会委員の任命

農業委員会委員の任期満了に伴い、立候補者の中から、新たに

財産(動産)の取得

「企業版ふるさと納税寄付」を受入れるための要件として、基金設置の根拠条例が必要のため。
財産(動産)を取得するため議会の議決を求める。
消防ポンプ車1台。契約金額2992万円。
(700万円以上は議会の議決必要)

賛成多数で同意

長住武美氏 頭本佳苗氏 高田昭徳氏 安達淳子氏 川上吉哉氏 が委員に選ばれました。

定数 5名
任期 令和7年6月19日～令和10年6月18日
(3年間)



農業委員会農地パトロール

採 決 表

議案番号	件名	小林良泰	小河久人	坪倉敏	中山法貴	梅林智子	金川守仁	松本利秋	安達幸博	竹永明文	採決
陳情第4号	地方財政の充実・強化を求める陳情(委員会付託事件の審査報告)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
第36号	日野町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第37号	日野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第38号	日野町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第39号	財産(動産)の取得(消防車の購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第40号	令和7年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第41号	日野町教育委員会委員の任命(三島道秀氏)	賛成多数									同意
第42号	日野町農業委員会委員の任命(長住武美氏)	賛成多数									同意
第43号	日野町農業委員会委員の任命(頭本佳苗氏)	賛成多数									同意
第44号	日野町農業委員会委員の任命(高田昭徳氏)	賛成多数									同意
第45号	日野町農業委員会委員の任命(安達淳子氏)	賛成多数									同意
第46号	日野町農業委員会委員の任命(川上吉哉氏)	賛成多数									同意
意見書第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定

第3回 臨時会

(令和7年5月1日)

- 専決処分4項目概要説明と承認
- 一般会計補正予算761万円を減額し、総額を42億9,958万円と定める。

歳入歳出予算の補正

役場業務アウトソーシング事業 △761万円

予算審査特別委員会で指摘事項(3月定例会指摘)

・議会からの意見
「役場業務の一部を外部委託する事業」について予算はすべて町の一般財源とされているが事業内容が不明瞭の為、再度検討の上、計上されたい。なお、国、県その他の有利な補助金の利用についても模索された。

・補正予算
歳入歳出の総額から761万円を減額し、歳出それぞれ42億9958万円と定める。

税条例の改正

主なもの
国の地方税法等の一部を改正する法律の改正に伴い、日野町の税条例等の改正が必要となりその一部を改正する。
住民税の見直し



特定親族特別控除申請

たばこ税の見直し



加熱式たばこ

軽自動車税の見直し



原付バイク

公示の方法
・現行は役場の掲示場にて公示しているものを、インターネットを用いる方法の定義を示した省令改正に伴う改正、その他対応する法令規定の改正に伴う規定の整備をする。

日野町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正
・「情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法の一部を改正」

特別会計

国民健康保険税条例の一部を改正
基礎課税額に係る限度額を改正前65万円、66万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る限度額を、改正前24万円を26万円に引き上げる。

臨時議会採決

- ・専決処分の承認
- ・財産(動産)の取得
- ・令和7年度日野町一般会計補正予算第1号
- ・日野町議会の個人情報の保護に関する条例の一部

臨時議会に提案された議案は、すべて賛成多数で可決・承認しました。

トピックス

今秋からNHK朝ドラで「ばけばけ」放送

物語は島根県松江市を舞台に、小泉八雲(ラファディオ・ハーン)の妻セツがモデルの物語です。八雲と結婚し、ばけばけの人生を歩む?滝山神社の奥にある龍王滝は八雲の「幽霊滝」伝説で知られており、この度のドラマの中で放映されることを願っています。
実は小泉八雲の孫にあたる小泉凡さんと日野町は10年来のお付き合いがあります。「怪談ナイト」と言うイベントを開催した際、怖い話の審査委員長をお願いして交流ができました。



幽霊滝

それ以来毎年島根県立大学の学生を連れて滝山神社に参られ、今年も9月26日小泉凡先生が学生を連れて来町されます。「ばけばけ」の放送に併せ楽しみです。
7月26日には、滝山公園で「ばけばけ」にちなんだ、「滝山星空ナイト」が開催されました。

議会地方創生戦略特別委員会

4月18日から6月13日まで計8回の委員会を開催し、「地域資源を最大限に活用し、誰もが住みたくなる持続可能なまちづくり」を基本理念とし、以下の3項目に基づいた「令和7年度議会版地方創生戦略計画」を策定しました。

人口増加・定住促進

子育て支援の充実
若者世帯・単身者向け住宅政策

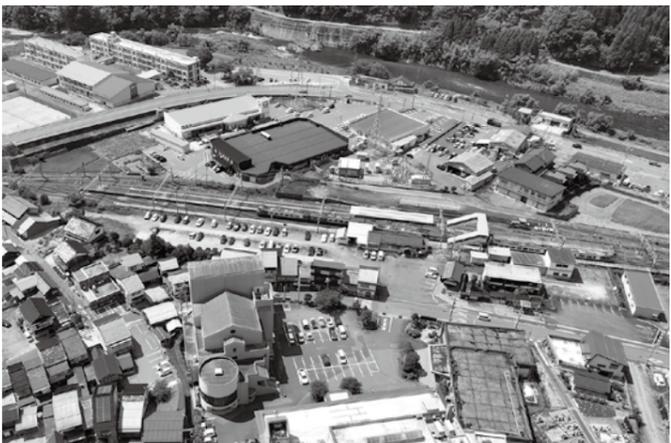
地域再生型ニュータウン構想
土地利用を柔軟にする特区制度の導入

職場環境の整備

農業の推進と後継者育成
若者に魅力的な職場づくり

インフラ整備

コンパクトシティ化
根雨駅周辺整備プロジェクト



上空から見た根雨駅周辺

6月13日の委員会では、町長ら執行部と協議し、要望書の提出を秋頃へ延期することを議論しました。
農業振興地域の規制緩和や特区設定については県と国の権限整理が必要であり、具体的な計画を進める必要があります。
また、ニュータウン構想やコンパクトシティ化についても議論されました。
議会版地方創生戦略を具体化し、町民の理解を得るための調整が求められています。

小規模水力発電を学ぶ

再生可能エネルギー調査特別委員会

当委員会は昨年5月風力発電計画に反対する陳情3件をうけ、8回の慎重審議を重ね、12月議会で、「採択すべき」と決定しました。
再生可能エネルギーには太陽光・風力・水力・地熱等があげられます。

7月4日、日野町で稼働中の畑・根雨の小水力発電事業管理運



金持の根雨小水力発電所を見学

営されている、京葉ガスエナジーソリューション株式会社より、説明を受けました。

今回発電可能性を調査されたのは、金持の朝刈川・津地の津地川・中菅の茗荷谷川です。

河川の落差・流量・水圧管延長さらに取水部の流域面積等の調査がおこなわれ、調査結果を提示されました。

各河川は、可能性はあるものの、補助金や電力固定買い取り制度FIT制度の推移等慎重に進めなければならぬ旨関係法令についても、詳細な説明を頂きました。
じっくりと長期的視点でという方針説明でした。

常任委員会報告

6月定例会において、常任委員会の改選が行われました。
新たな議員構成は左記のとおりです。
(任期は令和7年6月9日から令和9年5月19日まで)

総務経済常任委員会

委員長 坪倉 敏
副委員長 小河 久人
委員 中原 信男
委員 竹永 明文
委員 金川 守仁

教育民生常任委員会

委員長 梅林 智子
副委員長 小林 良泰
委員 安達 幸博
委員 松本 利秋
委員 中山 法貴

議会運営常任委員会

委員長 安達 幸博
副委員長 竹永 明文
委員 松本 利秋
委員 坪倉 敏
委員 梅林 智子

議会広報常任委員会

委員長 小林 良泰
副委員長 小河 久人
委員 松本 利秋
委員 金川 守仁
委員 梅林 智子
委員 坪倉 敏



坪倉委員長のコメント

前回に引き続き総務経済委員となりましたが、今回は委員長の大役を仰せつかりました。
新人議員で大任ですが皆様のお力添えで頑張りたいと思います。



梅林委員長のコメント

教育全般を見直し、誰もが自尊感情をしっかりと持ち合わせるのには何が大切なのか、見つめていきたいと考えます。



安達委員長のコメント

委員会運営においては、公平・公正な議事進行を心がけ、すべての議員の皆さまが意見を述べやすい環境を整えることに努めてまいります。

また、議会全体の信頼性を高め、町民の皆さまの期待に応えるべく、委員の皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。

その責任の重さを改めて感じるとともに、委員長としての職務を全うする覚悟を新たにしております。



小林委員長のコメント

構成委員に変わりありませんが、若手を中心となり誰もが読みやすく町外に向けた発信も議会だよりの編集に努めたいと思います。

鳥取県の農林業施策と補助制度等に関する勉強会

令和7年4月24日
日野振興センター農林業振興課副局長兼農林業振興課長西村浩明氏を招き、農林業施策と補助制度に関する勉強会を開催した。また産業振興課職員3名も出席された。

○新規就農者総合支援事業
「親元就農促進支援交付金」は、認定農業者等が将来経営を移譲（3親等以内）する親族に対して、

栽培技術や経営ノウハウ等の研修を実施する場合に支援。

○スマート農業推進事業
農林公社や集落営農組織等が省力化や軽労化に必要とするスマート機械を導入する事業。

○新規就農者総合支援事業
青年の就農意欲の喚起と就農直後の定着を図り、青年就農者の増大を図る事業。認定新規就農者（50歳未満）で農地を借受けている者。

○新規就農者総合支援事業
（就農応援交付金）
新規就農者の運転資金、基盤整備及び生活費等に活用可能な使途の定めのない交付金。月額10万円。

○新規就農者総合支援事業
（就農応援交付金）
新規就農者の運転資金、基盤整備及び生活費等に活用可能な使途の定めのない交付金。月額10万円。

○中山間地域等直接支払交付金事業
生産条件が不利な中山間地域等の集落の農業者等が市町村と協定を締結し、5年以上農業を続ける場合、対象農地の傾斜、面積に応じて交付金を交付。
その他、農業政策

の補助事業には、担い手、水田営農、園芸、野菜、畜産、6次産業化、地産地消、販路拡大、鳥獣対策など、日野町の農林業政策に直接関わる政策が沢山網羅されていることが理解でき大変有意義な勉強会でした。



稲作り(本町の主要産業)

日野町議会6月定例会

一般質問テーマ

- 安達 幸博 子供たちの命を守るために
- 松本 利秋 読書活動と文化・美術関係の整備
- 梅林 智子 町産業への支援、給食無償化の方針・減税
- 小河 久人 合併処理浄化槽と子育て世帯に注目されるまちづくり
- 中山 法貴 日野高校の存続に向けた支援と、ふるさと教育推進事業

.....ご案内.....

チャンネルひので、議会中継がご覧いただけます。
議員名下のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問動画が視聴できます。



安達 幸博議員



子供の命を守る 防災教育

議員 学校での防災教育の具体的な内容、課題と災害時の学校施設の活用についてお尋ねをします。
熱中症対策をお聞きます。
教育長 各学年で道徳や特別活動、各教科で防災教育を実施しています。今年度から3年間、日赤鳥取県支部の防災教育推進モデル校として防災教育を実施します。
京都市大学防災研究所との地震学習が大学側の事情で継続不可となりました。
学校施設を避難所として活用する場合、学校教育活動との両立が課題です。体育館は、夏の暑さ対策のために、冷風機とスポットクーラーを備えておりますが、施設全体の空調を整えることはできません。冬季の暖房につきましても同様で、ファンヒーターまたはストーブの使用となります。避難



熱中症指数計

所に必要と思われる空調設備については、十分ではありません。
議員 日赤の防災教育を導入されたこと、大変評価します。家庭や地域との連携不足や自主的行動力の育成が課題と思います。
地震学習は、鳥取大学や米子高专との連携はできませんか。
体育館の整備は断熱効果、大型空調整備あるいは建替えなど計画的な整備が必要だと思います。
町長 鳥取大学や米子高专とは包括連携協定を結んでいますので検討したいと思っています。
体育館の整備は国の補助金制度を活用し、体育館のエアコン整備に向かいたいと思います。
教育長 熱中症対策は適度な運動、適切な食事、十分な睡眠を指導し、小まめな水分補給を促し、家庭にお茶やスポーツドリンクを依頼しています。エアコンの活用や熱中症指数計で暑さ指数を計測し、適切に指示を出すようにしています。

意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 社会保障の充実、これら分野を支える人材確保にむけた自治体の取組みを十分に支える財政措置を講じること。
2. とりわけ、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、
提出先 内閣総理大臣ほか
3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、引き続き臨時財政対策債に頼らない、より自立的な地方財政の確立に取組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正に向けては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
（紙面の都合上11項目の内3項目を掲載）
令和7年6月17日提出
鳥取県日野町議会
提出先 内閣総理大臣ほか



松本 利秋議員



読書活動と情報について

議員 県は、読書活動推進ビジョン第5次計画を公表。「全ての子どもが読書を親しみ、心豊かな経験を通して生きる力を育む」ことを推進するとありました。

このようなおり、日野学園は、読書活動文部大臣表彰を受賞されたようで、お祝いし、大変嬉しく思います。保育所と日野学園での取り組みを伺います。

教育長 保育所では、今年度から「絵本コーナー」を設置。園児や保護者が気軽に絵本に親しむことが出来る工夫をしています。

日野学園でも、児童生徒会の文化委員会と学校司書、司書教諭等が連携して児童生徒が本に親しめるよう工夫して取り組んでいます。

議員 図書を活用した教育で、秋田県に学力日本一の村もあります。が、受賞を契機に、今後の展望をお聞かせください。

教育長 学校図書館には、①読書、②学習、③情報の機能があります。これをより充実させ、児童生徒の心豊かな心を育む読書活動、自発的・自主的な学習活動支援、情報の収集、選択、活用能力を育成するための学習支援を充実させます。

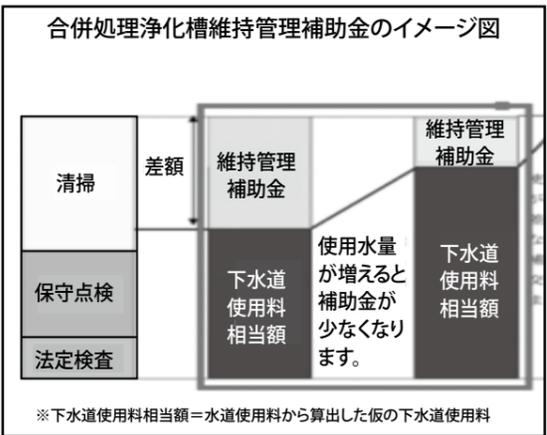
一方で、図書は地域の皆様にもご利用いただけるようにしております。そういう機会に児童生徒とも触れ合っていただけのことを期待するところです。

議員 日野郡広域交流促進協議会のイベント情報について伺います。町長 「夏の陣」などのイベント情報誌は10年を区切りに終了し、SNS等の活用で情報発信をされています。

議員 ならば、イベント情報を町で対応される考えはありますか。課長 町内のイベント等は、発信を協力していきたいと考えます。



学校司書による本の紹介



町長 今のところ法定検査手数料の助成は考えておりませんが、修繕費の補助が必要ではないかと考えており、今年度も同じ要望を強力にして参ります。

子育て世帯に注目される町づくりについて

議員 3歳児の内に作業療法士と関わって行く治療が進むと思われ、相談・巡回体制の充実を行っていくべきだと考えるが、どうお考えでしょうか。

町長 具体的なお話があるんであればぜひ聞かせてください。うふうなお話もしてるところであります。



梅林 智子議員



新たな農業支援を

議員 米作・和牛・椎茸・林業等いずれも農家は危機に瀕しています。支援策を伺います。

町長 新たには何もありません。従来からの支援を遅滞なく行います。椎茸農家にはホダ木1本あたり、50円上限2000本の補助があります。

議員 今後のプランは。町長 新農業推進プランを策定し地域の取り組みを後押ししたいです。

給食無償化の確保は

議員 来年度から国から給食費が保障される事になりますが、取り組みを伺います。

町長 学校給食会が中心となって県内産品75%を目標に努力しています。前期課程362円、後期課程425円が食単価です。

議員 物価高への対策は？町長 50円から62円の値上げを行い、質の確保に努めています。給食の質は落とさない事が大前提です。

夏を乗り切る為の減税を

議員 3月議会で提案した減税を東京都が、6月議会で提出し、可決の見通しと報道されました。我が町でも、水道代の4ヶ月分を減税するお考えはありませんか。町長 なかなか難しいと考えます。



ホダ木切出補助金 1本50円

合併処理浄化槽について

議員 負担を少しでも軽減することができないかと思いますが、どう思われますか。

町長 現在、子どもが一番懸念している、心配しているのは、合併浄化槽を設置してから随分年数を経過する、具体的には、25年を経過する合併浄化槽、そういったものもあることから、むしろ修繕費の補助が必要ではないかと考えておりまして、現在、国、県に制度、そういう制度化、更には財源確保を要望しているところでございます。

議員 一般会計からの繰り入れとして膨大な予算が投入されており、この不公平を是正する必要があります。公共用水域の保全を図る為にも浄化槽法十一条の法定検査料だけでも助成すべきだと考えます。どう思われますか。



小河 久人議員



日野高校支援事業の責任

議員 日野高校を存続させるべく、町はこれまでに1億4000万円を超える支援をしてきました。しかし今年度の入学者数は30名と目標の半数にも届いていません。そして、学級数を減らすと県の計画にて示されています。

失敗を認め大いに反省してもらいたい。責任をどう考えますか。町長 厳しい状況です。しかし、なんとか踏みとどまっていると受け止めています。

戦略を練り直すよう日野郡の協議会で検討しています。責任を果たしたいと思えます。

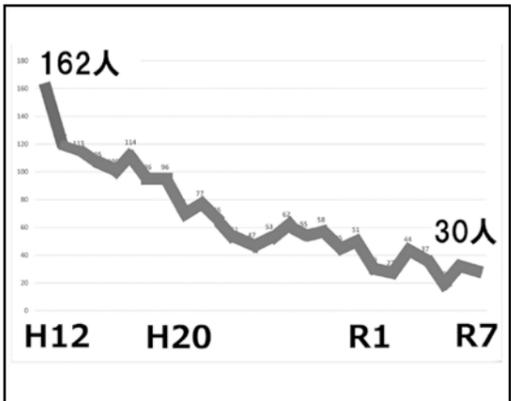
議員 何度も言っていますが、高校魅力化とは、進路が実現できる学校にすることです。そうなるように動いていただけませんか。町長 県からの経費補助も受けることになりました。活動を増やしていけたらと思います。



中山 法貴議員



ふるさと教育の目標



日野高校の入学者推移

議員 ふるさと教育推進事業の効果が現れて来ない状況です。人材育成に対し数値目標を立て、それを目指すべきです。多額の費用をかけるのであれば、成果を出さないと町民は納得できません。町長 人材育成は日野郡3町で掲げています。数値目標を作れるようにしていきたいと思えます。

議員 まなびや縁側は、コンセプトが決まっていますか。それを力にキリウムに組み込んでいますか。教育長 指摘は以前からいただいています。重点目標を持ち運営していきます。

第18回 日野に生きる

～ホテルの里で活性化～ 安原の「日野町やっちゃら会」



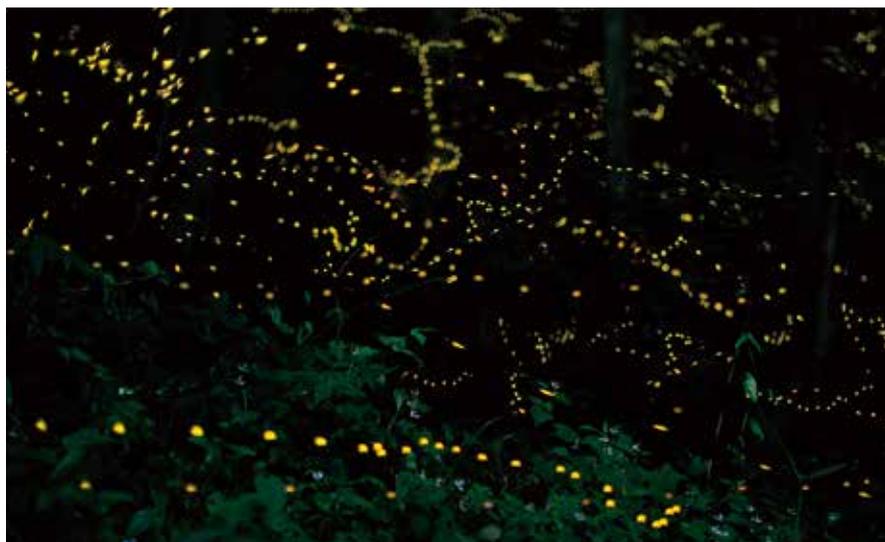
やっちゃら会の有志

日野町安原集落の裏山は、自然が豊かでヒメボタル等、希少な生物が生息しています。

この裏山を「宝の山」として次の世代に引き継ぐと共に、地域の活性化に繋げ、集落の存続への活路を開こうと、里山環境を生かす活動に安原の有志が「日野町やっちゃら会」を令和6年8月5日に結成（会長＝瀬田和人、副会長＝松本敏紀、事務局＝杉原幹雄）取り組んでいます。

ヒメボタルが

光るのは1年のうちで6月下旬から7月にかけての2週間ほどで、日没後8時から9時の約1時間だけです。森林の中は、満天の星空を切りばめたように1秒にも満たないヒメボタルが光を放ち幻想的です。10年前から地元有志が調査し、



林の中はヒメボタルの光で幻想的です

安原集会所にホテル情報を貼り出し、サイトでも知らせています。

ヒメボタルの生息と観察するためには、集落から延びる林道沿いの草刈りや森林内の雑木伐採などの整備が必要。会員は作業に毎年汗を流しています。事務局の杉原さんは、現在の観察地より少し歩いて

通などのサービス機能が必須でこれの充実が今後待たれます。

ホテル観察（会）に行く時、夜にも関わらず会員の皆様が温かく迎えて頂くことが何よりもありがたいです。自然保護を生かした活性化の取り組みの先駆者、活動にエールを送ります。

あとながき

暑く、エネルギーギッシュな夏もあとわずか。と思うと何か夏にやり残したこともあったかのようない気持ちになるのは私だけでしょうか、四季の豊かな日本、このまち、日野町で生まれ若気の至りで憧れの都会に旅立ちましたが「お盆と正月」には毎年里帰りをした事を亡き両親に誇らしげに話していた自分がいました。今思うととっても恥ずかしく感じます。

「親孝行、したい時には親はなし」
「孝行のしたい時分には親はなし」
(金川 守仁 記)

議会広報常任委員会

- 委員長 小林 良泰
- 副委員長 小河 久人
- 委員 松本 利秋
- 委員 金川 守仁
- 委員 梅林 智子
- 委員 坪倉 敏

